

昭和南海地震
80年

繰り返す南海地震からの教訓

自然災害伝承碑  に刻まれた先人のメッセージ

四国各地の自然災害伝承碑には、過去の南海地震から命を守るための教訓が刻まれています。

津波之碑（高知県須崎市）



① 揺れたら すぐ高台へ逃げる

地震の揺れを感じたら、
海辺にとどまらず、
山や高台など安全な場所へ
避難することが重要です。

「伝承を信じてすぐに山手へ逃げ
登った者は助かった。後代の人よ、
とにかく早く山の平らな近くに岩
がない所を選んで逃げなさい」

安政地震の碑
(高知県土佐市)



出羽島観栄寺石碑
(徳島県牟岐町)



「前日から山上に
避難していたため
事故やけが人はな
かった」

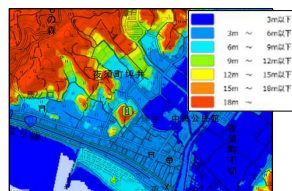
安政南海地震伝承碑
(高知県香南市)



「この山に逃げた数百人
は助かった。宝物を家に
残していても決して家に
戻ってはならない」

地理院地図で見るポイント

色別標高図を表示して、周辺の高台や避難
に適した場所を確認してみましょう。



② 海辺に近づかない

津波発生時に
海辺へ向かうことは
大変危険です。

沖洲蛭子神社百度石
(徳島県徳島市)



「船で避難してはいけな
い。100年のうちにこ
のような地震・津波が
やってくる」

寶永津浪溺死之塚
(高知県須崎市)



「誤った言い伝えを信じ
て船で沖に出た30余名
は命を落とした」

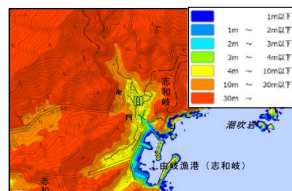
志和岐震災碑
(徳島県美波町)



「船や納屋は残らず沖へ
流されたが、人々は寺や
山などへ逃げ犠牲者は出
なかった」

地理院地図で見るポイント

海岸線や河川の形状を確認し、津波がどの
ように到達するか考えてみましょう。



③ 津波は何度も来る

避難した後も、避難情報を
確認しながら安全な場所に
留まることが重要です。

額浦海嘯記
(徳島県海陽町)



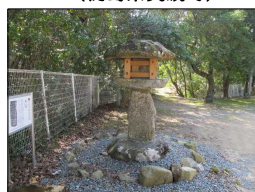
「津波は夜半まで
4～5回あり」

安政津浪の碑
(高知県黒潮町)



「7回襲った津波のうち
第4波が最大」

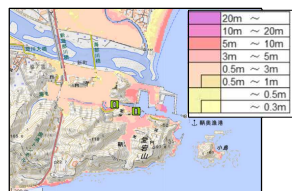
木岐王子神社石灯籠
(徳島県美波町)



「1時間のうちに津波が
3回襲い」

地理院地図で見るポイント

津波浸水想定や標高を確認し、津波の影
響範囲を考えてみましょう。



④ 地盤沈下が 暮らしを変える

地震後は土地が低くなり、
浸水することがあります。
生活や産業にも
大きな影響を与えます。

白鳥湛水防除事業竣工之碑
(香川県東かがわ市)



「地盤沈下が一段と強ま
り、数十cmの降雨でも
田畑の湛水や床下浸水が
常となった」

北温海岸防波堤竣工記念
(愛媛県松山市)



「約60cmの地盤沈下が生じ、その
後の昭和25年(1950)、27年
(1952)、29年(1954)の相次ぐ台
風により大きな被害を生じた」

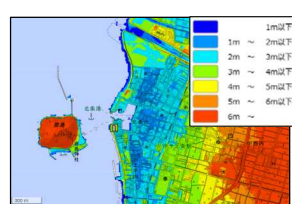
立江八幡神社農地災害復旧碑
(徳島県小松島市)



「地盤沈下により、水
田約40万平方メートル
は悪水が滞留して不毛
の地と化した」

地理院地図で見るポイント

色別標高図を重ねると、低地や地盤沈下の
影響を受けやすい地域を確認できます。



⑤ 災害は忘れたころに やってくる

「昔話」と思ったころに、
同じような災害は繰り返
し発生します。
石碑は未来への警告です。

徳密
(高知県香南市)



「148年前の宝永地震を昔話のよ
うに思って油断していた。後世の
人は油断せず用心すべし」

南海大地震遭難者追悼之碑
(高知県須崎市)



「天災は忘れた頃に
やってくる」

沖洲蛭子神社百度石
(徳島県徳島市)



「100年のうちにこのよう
な地震・津波がやってくる」

宝永地震
(1707年)

約147年

安政南海地震
(1854年)

約92年

昭和南海地震
(1946年)

約80年

次の南海トラフ地震
日頃の備えが重要

過去の災害を知ることは、未来の命
を守ることに繋がります。ぜひ地理
院地図でお住まいの地域の地形や
避難場所を確認してみてください。

あなたの地域は？

- ☐ 自宅から最も近い高台を知っていますか
- ☐ 家族との避難場所を決めていますか
- ☐ 地理院地図で標高を確認しましたか

